

令和8年度事業計画ロードマップ(進捗状況と今後の予定)

中期計画					令和7(2025)年度事業計画	現在までの進捗状況	令和8(2026)年度事業計画	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
課題分野	課題の数値目標	WG名	No.	事業の概要							
教育改革プロジェクト	①QSP科目群としての授業の提供、または共同開発(期間中に5科目以上) ②共同FD・SD(短大系含む)の実施(期間中に15回以上) ③共同研究の実施(期間中に10件以上) ④共同IRによる共通調査等の実施(期間中に5件以上) ⑤高大接続事業(共同訪問、共同説明会等)の実施(期間中に5件以上) ⑥地元就職支援に係る地元企業との連携事業(期間中に5件以上) ⑦リカレント教育の講座等の実施(期間中に10件以上)	A・QSP科目群創出WG(国際大)	A-1	・教材開発、教材データベース	・これからの時代に求められるデジタル人材の育成に資する情報教育や、地方創生に貢献する上で基盤となる地域の学びに関する内容につながる教材の開発と教材データベースの構築を行い、それらが参画校の授業の中で活用される仕組みづくりを目指す。 ・取り組みを発展させるため、他のWGとも協働で取り組むことも踏まえた参画校との検討を進める。 ・教材開発、教材データベースに掲載するコンテンツ作成について参画校間で協議・検討する。	・A-2及びA-3の事業と関連付けて、データサイエンスやプログラミングなどに苦手意識を持つ学生も学びに活用することのできる教材の作成について、他のWGとも協働で取り組むことも踏まえた参画校との検討を進めている。 ・関連する内容による共同SD・FDを実施したことで、課題を共有し、他の事業と合わせて取組を進めた。 ・これまで実施した共同SD・FDで紹介された情報教育の授業で使用されている教材などをQSP公式サイト上に自由に利用可能な形で公開しており、今後、QSP科目群の取組の中から得られる学修教材等の公開を検討した。	・これからの時代に求められるデジタル人材の育成に資する情報教育や、地方創生に貢献する上で基盤となる地域の学びに関する内容につながる教材の開発と教材データベースの構築を行い、それらが参画校の授業の中で活用される仕組みづくりを目指す。 ・取組を発展させるため、A-2及びA-3の事業と関連付け、他のWGとも協働で取り組むことも踏まえた参画校との検討を進める。 ・教材開発、教材データベースに掲載するコンテンツ作成について参画校間で協議・検討する。	・これまで構築した教材データベースを発展させ、参画校の中で共同利用できる仕組み作りの検討を行う。	・参画校の中で共同利用できる仕組み作りの検討を継続し、利用の促進を図る。	・参画校の中で共同利用できる仕組み作りの検討を継続し、利用の促進を図る。	・取り組みを継続し、本年度の事業の振り返りとまとめを行う。 ・次年度へ向けた計画の策定。
			A-2	・単位互換	・各校の学生が学びやすい環境を整えるため、また多様な学びができるような科目構成が構築できるプラットフォームとしての基本的な制度設立に向けた準備に取り組み、今後、本取組の課題等の検討、論点整理を踏まえ、参画校での協議を進めていく。 ・「西九州探求」に関連する科目を、各参画校が提供し、相互に利用できるような共通科目群として整備することについて協議・検討を進める。	・本WGの主たる取組として、QSP参画校間で運用を行う単位互換制度の構築について、これまで協議を重ね進めてきた。昨年度、単位互換制度の大枠について、合意形成することができ、本年度、開講する科目の具体的なシラバス(授業計画)や運営方法について、検討し、制度設計をまとめた。 ・今後、新たに設置されるQSP科目群の授業科目についても単位互換制度認定科目として、各校の学生が授業を履修することで、単位認定がされる。 ・これらを基に、本年度、QSP参画校各校で、QSP科目群の設置及び授業科目履修による自校における単位認定に関するカリキュラム、履修規程等の整備、改定を行い、各校で実施に向けた承認を得た。 ・QSP科目群創出WGが設置する最初の科目として、「西九州探求Ⅰ・Ⅱ」の次年度(令和8年度)からの開講への道筋を付けることができた。 ・QSP公式サイト上に、QSP科目群に関する情報を公開するためのページを開設できるようにした。	・本WGとして、参画校と連携し、QSP科目群の制度を構築し、本年度は、西九州探求Ⅰ・Ⅱを開講する。 ・適切にQSP科目群を運用し、履修学生への単位付与まで実施する。 ・QSP科目群の情報公開のため、QSP公式サイト上に、専用ページを立ち上げる。 ・多様な学びの機会をQSP科目群として提供することを旨とし、西九州探求Ⅰ・Ⅱに続く科目の創出のための協議を進める。	・QSP科目群の創設の広報を行う。 ・QSP科目群のサイトを開設する。 ・西九州探求Ⅰ・Ⅱの履修学生募集を参画校で実施し、履修登録を行う。 ・西九州探求Ⅰを開講する。 ・新規開講科目について、検討する。	・QSP科目群の創設の広報を行う。 ・QSP科目群のサイトを適宜、情報更新する。 ・西九州探求Ⅰ・Ⅱの履修学生募集を参画校で実施し、履修登録を行う。 ・西九州探求Ⅰを開講し、成績評価、単位付与する。 ・新規開講科目について、検討する。	・QSP科目群の創設の広報を行う。 ・QSP科目群のサイトを適宜、情報更新する。 ・西九州探求Ⅱの履修学生募集を参画校で実施し、履修登録を行う。 ・西九州探求Ⅱを開講し、成績評価、単位付与する。 ・新規開講科目について、検討する。	・取り組みを継続し、本年度の事業の振り返りとまとめを行う。 ・次年度へ向けた計画の策定。
			A-3	・西九州探求(長崎学、佐賀学)	・A-2「単位互換」導入に向けた取り組みに合わせ、西九州探求に関連する学びができる授業科目の設置に向けた検討を参画校と一体的に議論を進めていく。	・本年度、本WG運営委員会を中心にA-2「単位互換」を参画校間で導入するための協議を進め、大学間単位互換制度(QSP科目群)を構築することができた。 ・西九州地域(長崎・佐賀)に関する多様な学びができる科目として、西九州探求(長崎学・佐賀学)Ⅰ・Ⅱを設置することを決定し、シラバス(授業計画)等を立案した。 ・授業は、参画校で協働で作上げる科目を目指し、オンライン形式とし、参画校よりそれぞれ授業担当の教員を設定し、西九州探求Ⅰは、地域文化を学び、西九州探求Ⅱは、地域産業に関する学びができるような学修内容でシラバスを構成した。 ・開講するための次年度における学生募集や履修登録の手続き、新規開講科目などについて、さらに継続して、参画校と協議を進めている。	・A-2「単位互換」の取組に合わせ、QSP科目群の枠組みの中で、参画校と連携し、西九州探求Ⅰ・Ⅱを開講する。 ・西九州探求Ⅰ・Ⅱの授業を実施し、運用体制等の課題を検討する。 ・当該取組の展開を促進するための検討を参画校間で進めていく。	・QSP科目群のサイトに西九州探求Ⅰ・Ⅱの情報を公開する。 ・西九州探求Ⅰ・Ⅱの履修学生募集を参画校で実施し、履修登録を行う。 ・西九州探求Ⅰを開講する。 ・取組の展開について、参画校間で協議・検討を進める。	・QSP科目群のサイトに西九州探求Ⅰ・Ⅱの情報を適宜、情報更新する。 ・西九州探求Ⅰ・Ⅱの履修学生募集を参画校で実施し、履修登録を行う。 ・西九州探求Ⅰを開講し、成績評価、単位付与する。 ・取組の展開について、参画校間で協議・検討を進める。	・QSP科目群のサイトに西九州探求Ⅰ・Ⅱの情報を適宜、情報更新する。 ・西九州探求Ⅱの履修学生募集を参画校で実施し、履修登録を行う。 ・西九州探求Ⅱを開講し、成績評価、単位付与する。 ・取組の展開について、参画校間で協議・検討を進める。	・取り組みを継続し、本年度の事業の振り返りとまとめを行う。 ・次年度へ向けた計画の策定。
			A-4	・人材バンク、共同FDSD、人事交流	・第2期QSPの体制に合わせ、3分野に再構成した人材バンクで参画校の教職員を登録し、これまで地域の教育活動、地域活動の活性化のための人材派遣など支援を行ってきた実績を踏まえ、地域からの多様な要望に応えるため、ニーズオリエンテッドな人材バンクの活用拡大を目指し、他のWGとの連携・協働を行う。 ・プラットフォーム事業の趣旨を徹底し、QSP参画校の教職員協働での事業推進を図るための共同SD・FDを計画的に実施する。 ・QSP参画校間および組織間での教職員の人事交流(非常勤講師の派遣を含む)を活発に行っていく。	[人材バンク] QSP人材バンクを活用した人材派遣として、各種の研修会、講習会、公開講座、専門家会議等へ31件(12月末時点)の実績である。本年度、人材データベースを「教育改革プロジェクト」、「SDGs推進プロジェクト」、「国際交流プロジェクト」の3分野で、登録教職員数は72名で公開を行った。 [共同SD・FD] ① R7.9.8(月) テーマ「教学マネジメントについて」(ハイブリッドでの開催)主催:西九州大学短期大学部 ② R7.9.17(水) テーマ「教育現場で見える“つまずき”から考える学生理解と支援のヒント」(オンラインでの開催)主催:短大系WG ③ R7.9.29(月) テーマ「九州地区短期大学における学習成果の在り方について」主催:短大系WG ④ R8.1.28(水) テーマ「学生は大学でどう学ぶか、2023年の教え方学び方」主催:長崎国際大学 ⑤ R8.1.29(木) テーマ「西九州大学・短期大学部におけるダイバーシティセンターの現状について」、「高等教育機関における合理的配慮の正しい理解」主催:西九州大学、西九州大学短期大学部 ⑥ R8.2.20(金) テーマ「ハラスメント予防と職場の心理的安全性を高めるためのストレスマネジメント」(ハイブリッドでの開催)主催:短大系WG ⑦ R8.3.12(木)~23(月) テーマ「DXによる大学教育の質的転換」(オンデマンドでの開催)主催:鎮西学院大学、長崎外国語大学、長崎総合科学大学 ⑧ R8.3.12(木)~23(月) テーマ「数理・データサイエンス・AI」(オンデマンドでの開催)主催:鎮西学院大学、長崎外国語大学 ⑨ R8.3.27(金) テーマ「食つな」とつながる地域連携」(ハイブリッドでの開催)主催:短大系WG	・3分野のプロジェクトに合わせ、人材バンクに参画校の教職員を登録し、これまで地域の教育活動、地域活動の活性化のための人材派遣など支援を行ってきた実績を踏まえ、地域からの多様な要望に応えるため、ニーズオリエンテッドな人材バンクの活用拡大を目指し、他のWGとの連携・協働を行う。 ・プラットフォーム事業の趣旨を徹底し、QSP参画校の教職員協働での事業推進を図るための共同SD・FDを計画的に実施する。 ・QSP参画校間および組織間での教職員の人事交流(非常勤講師の派遣を含む)を活発に行っていく。	・人材バンクの登録人材情報更新を行う。 ・人材バンク事業の充実を図り、地域の教育活動等へ利用促進のための周知を行っていくとともに、関係団体や他のWGと連携しながら取り組みを推進する。 ・本年度実施する共同SD・FDのテーマ、内容、実施方法等について、QSP参画校間で検討し実施計画を作成する。	・人材バンク事業の充実を図り、地域の教育活動等へ利用促進のための活用策の提案、周知を行っていくとともに、関係団体や他のWGと連携しながら取り組みを推進する。 ・実施できる共同SD・FDを順次、展開し、本事業の目的の実現に向けた検討を継続する。	・人材バンク事業の充実を図り、地域の教育活動等へ利用促進のための活用策の提案、周知を行っていくとともに、関係団体や他のWGと連携しながら取り組みを推進する。 ・実施できる共同SD・FDを順次、展開し、本事業の目的の実現に向けた検討を継続する。	・取り組みを継続し、本年度の事業の振り返りとまとめを行う。 ・次年度へ向けた計画の策定。

令和8年度事業計画ロードマップ(進捗状況と今後の予定)

中期計画					令和7(2025)年度事業計画	現在までの進捗状況	令和8(2026)年度事業計画	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
課題分野	課題の数値目標	WG名	No.	事業の概要								
教育改革プロジェクト	①QSP科目群としての授業の提供、または共同開発(期間中に5科目以上) ②共同FD・SD(短大系含む)の実施(期間中に15回以上) ③共同研究の実施(期間中に10件以上) ④共同IRによる共通調査等の実施(期間中に5件以上) ⑤高大接続事業(共同訪問、共同説明会等)の実施(期間中に5件以上) ⑥地元就職支援に係る地元企業との連携事業(期間中に5件以上) ⑦リカレント教育の講座等の実施(期間中に10件以上)	A・QSP科目群創出WG	A-5	・共同IR	・プラットフォーム事業を推進するに当たり、参画校の教学に関する情報を集約、分析し、各WGが事業計画作成等に活用するための基礎資料作りを行うとともに、活動中に得られた情報を共有・公開に取り組む。	これまで継続して、QSP参画校での共同IR調査を実施し、IR資料のデータを全校より提供を受け、情報を集約整理し、更新したデータをQSP公式サイトにて情報公開を行ってきた。 このデータに基づき、連携校の学長による評価、分析コメントの取りまとめを行い、合わせて情報公開している。 QSPによる事業基盤となるIRに関する情報を各校にフィードバックして、QSPとしての強みと課題、現況を参画校にて、情報を共有化し、各WGでの事業推進のための計画作りなどに活用している。 令和7年度分の次年度の調査に向けた準備を進めている。	・プラットフォーム事業を推進するに当たり、参画校の教学に関する情報を集約、分析し、各WGでの事業展開と事業計画作成等に活用するための基礎資料作りを行うとともに、活動中に得られた情報を共有・公開に取り組む。 ・令和7年度分の状況に関する調査を実施する。	・共同IRのデータ更新のための調査を参画校で行う。	・共同IRのデータの集計、更新の作業を行う。	・更新データを取りまとめ、公開及びQSP参画校内で情報共有する。	・共同IRデータの活用について検討する。 ・次年度へ向けた計画の策定。	
		B・人材育成・高大連携WG(鎮西大)	B-1	・「地域創生支援リーダー育成入試」	・引き続き「地域創生支援リーダー育成入試」の学生募集に合同で取り組む。 ・1・2年生対象の地域創生リーダー育成プログラムを実施。	・24年度、制度導入後初の入学者を得、キャリア育成プログラムもスタートした。実施依頼、1年時メニューを合同で実施してきている。今年は初の3年時の合同面接を実施予定。	・引き続き「地域創生支援リーダー育成入試」の学生募集に合同で取り組む。 ・1・2年生対象の地域創生リーダー育成プログラムを実施。		・地域創生支援リーダー育成入試 学生募集要項作成	・地域創生支援リーダー育成入試 募集活動実施	・地域創生支援リーダー育成入試実施	
		B-2	・合同グループ面接講座	・「地域創生リーダー育成プログラム」として1・2年生対象プログラムを実施	・24年度、25年度は1年生対象プログラムとして、企業魅力発見バスツアーを実施。	・「地域創生リーダー育成プログラム」として1・2年生対象プログラムを実施						
		B-3	・合同企業説明会	・引き続き「地域創生リーダー育成プログラム」3年生対象プログラムを実施。	・「地域創生リーダー育成プログラム」3年生対象プログラムとして23年度企業見学会、24年度合同企業・事業所説明会、25年合同企業訪問を実施	・引き続き「地域創生リーダー育成プログラム」3年生対象プログラムを実施。					・3年生対象プログラム実施	
		B-4	・リケジョ事業	・引き続き実験体験会等のイベントを企画・実施	・佐賀大学、西九州大学、長崎国際大学、佐世保高専、久留米工業大学5校合同の「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」にて、実験体験会等を企画、実施 ・25年6月14日「女子中高生のための！リケフェスin SASEBO」 ・25年9月28日「女子中高生のための、リケフェス2025」	・引き続き実験体験会等のイベントを企画・実施			・イベント企画・実施		・イベント、アンケート結果報告	
		B-5	・リカレント	・各大学主催のリカレントに関する講座の取りまとめと広報活動 ・「セルフ・キャリアドック面談」の実施 ・「ノーコードアプリ公開講座」	・「セルフ・キャリアドック面談」R5年度から継続 ・「ノーコードアプリ公開講座」8月(実施)、9月(実施)	・各大学主催のリカレントに関する講座の取りまとめと広報活動 ・「セルフ・キャリアドック面談」の実施 ・「DX関連公開講座」		・「DX関連公開講座」の企画	・「セルフ・キャリアドック面談」関係者との協議 ・「DX関連公開講座」の実施(全2回)	・「セルフ・キャリアドック面談」各対象者と面談2回、報告会 ・「DX関連公開講座」の効果検証	・「DX関連公開講座」の効果検証	・「DX関連公開講座」の効果検証に基づく改善(次年度企画素案の作成)
		C・短大系WG(佐女短)	C-1	・キャリア教育(短大フェス)	・合同のキャリア教育(リーダーシップ研修)の実施	3月28日にオンラインで4校合同の学生研修会の1回目をオンラインで開催。各校2~3名ずつ、計10名前後が参加。	・合同のキャリア教育(情報発信リーダー研修)の実施	・打ち合わせ	・対面による情報発信リーダー研修の実施	・振り返り	・オンラインによる情報発信リーダー研修の実施	
		C-2	・短大共同IR	・これまでに蓄積した在学生調査、卒業生調査のデータの分析を行なうとともに、それらをふまえた卒業時調査、就職先調査、高校調査等の共同IRの実施に向けて、検討を行う。	現在3校合同の在学生調査を実施中(12~1月) また、6月に1回目の共同IR調査見直しのミーティングを開催し、2回目のミーティングを3月に開催	・これまでに蓄積した在学生調査、卒業生調査のデータの分析を行なうとともに、それらをふまえた卒業時調査、就職先調査、高校調査等の共同IRの実施に向けて、検討を行なう。		・分析・検討会議の開催		・分析・検討会議の開催		
		C-3	・広報	・地方短大の維持発展のための、合同FD/SD研修会のテーマの検討と実施	・2025/9/17 QSP短大系WG・佐賀女子短大・長崎短大・西九州大学短大部共催FD・SD研修「教育現場で見える“つまずき”から考える学生理解と支援のヒントーワーキングメモリの視点からー」@佐賀女子短大 ・2025/3/27「食つな」とつながる地域連携(ハイブリッドでの開催)	・地方短大の維持発展のための、合同FD/SD研修会のテーマの検討と実施			・合同FD/SD研修の開催			

令和8年度事業計画ロードマップ(進捗状況と今後の予定)

中期計画					令和7(2025)年度事業計画	現在までの進捗状況	令和8(2026)年度事業計画	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
課題分野	課題の数値目標	WG名	No.	事業の概要							
SDGs推進プロジェクト	⑧ 共同公開講座の実施(年5件以上) ⑨ 健康増進事業の実施(期間中に10件以上) ⑩ 自治体、地場産業、地場企業からの課題解決にかかる受託事業等(期間中に5件以上) ⑪ 自治体、地場産業、地場企業とのWGの組成(期間中に5件以上) ⑫ 施設・設備の共同利用による取組の実施(期間中に10件以上) ⑬ 中等教育関連教材の開発(期間中に4本以上) ⑭ 中等教育関連支援活動の実施(期間中に10件以上)	D・健康・福祉推進WG(西九)	D-1	・ウォーキングで健康イノベーション	・市内での多数のイベントが開催されていたにもかかわらず、250名以上の一般参加者と60名以上の高校生ボランティアが参加したという令和6年度までの経験を活かし、「ウォーキングで健康イノベーション」事業概要、事業計画名のもと、連携大学、短期大学、佐賀県内の高校生ボランティア、佐賀県商工会議所連合会各種企業および佐賀県とのコラボによる「QSP健康ウォーク2025in佐賀」(仮称)を開催 ・佐賀市とのコラボによる「QSP健康ウォーク」(仮称)の開催	令和7年度の計画であった、連携大学、短期大学、佐賀県内の高校生ボランティア、佐賀県商工会議所連合会各種企業および佐賀県とのコラボによる「QSP健康ウォーク2025in佐賀」を開催し、一般参加者は331名で史上最高の参加者数となった。アンケートの結果から、佐賀市からの参加が67.6%と最も多かったが、長崎県や福岡県からの参加もあった。99.5%の参加者が次回も参加したいと回答しており、各テントブースで開催された健康関連の各展示にも多数の参加者が認められた。 佐賀市の高校のボランティアも各展示ブースやウォーキング支援で活躍し、参加者の高校生、大学生ボランティアに対する評価は非常に高かった。これらの結果より、QSP健康ウォークの知名度が広がりがつつあるものと感じている。	R7年度は、7年目の開催で初めて11月末に変更したが、史上最高の331名の市一般参加者と60名以上の高校生ボランティアが参加した。また、アンケート結果も良好であり、参加者の満足度が非常に高いイベントとなっている。 これらの経験を活かし、「ウォーキングで健康イノベーション」事業概要、事業計画名のもと、連携大学、短期大学、佐賀県内の高校生ボランティア、佐賀県商工会議所連合会各種企業および佐賀県とのコラボによる「QSP健康ウォーク2026in佐賀」(仮称)を開催したい ・これまで関係性が低かった佐賀市とのコラボによる「QSP健康ウォーク」(仮称)の開催を目指す	SDGs推進プロジェクト連携校との「QSP健康ウォーク2026in佐賀」(仮称)の開催に関するコンセンサスをとる ①これまでのウォーキングイベントのまとめと予算措置などの検討 ②佐賀県商工会議所への協力依頼を始める	①本事業(ウォークラリー)がサステナブルとなるための計画のさらなる見直しを実施 ・本事業(ウォークラリー)の会場設営、ウォーキングルートおよび募集範囲の再検討する ・本事業(ウォークラリー)の予算、主催者の人的労力負担の見直しを実施	①参加校が実施する各ブースの健康測定サービスや栄養指導などのサポート体制を整える ②参画校の学生や佐賀県内の高校生ボランティアと参加者との交流の場を設定する	連携大学、短期大学、佐賀県内の高校生ボランティア、佐賀県商工会議所連合会各種企業および佐賀県とのコラボによる「QSP健康ウォーク2026in佐賀」(仮称)の成果のまとめと次年度に向けた計画作成
			E・地域産業振興WG(長総大)	E-1	・観光・まちづくり事業	・2025年度より、産学官連携の枠組みに長崎市DMO、県観光連盟、NTTグループも参加して、長崎市版ESD=NESDモデルを創造し「地域課題解決型修学旅行プログラム」の戦略のもとに、観光人材育成とコンテンツを以下の4つのメニューとして具体的な磨き上げを実施、商品販売活動まで実施する。①歴史文化、②平和学習、③脱炭素エネルギー、④限界集落の交流。	産学官連携の枠組みをもとに長崎市版ESD=NESDモデルを創造することができた。「地域課題解決型修学旅行プログラム」のコンテンツメニューと収支計算を含めた具体的な磨き上げと実証実験を実施。実際の商品販売活動までではできなかったものの、2026年度に磨き上げ、実証実験、商品造成まで実施したい(コンテンツメニュー:①歴史文化、②平和学習、③脱炭素エネルギーに絞る)。	・NESD企画の磨き上げ、実証実験の実施、商品造成までを行う。	・NESD企画内容検証	・NESD商品企画・実証実験実施	・NESD商品再度磨きあげ
		E-2		・地場産業振興(窯業他)	・ドローンをを用いた生産管理計画をたて、実証実験を行う。台数、積載量を増やす。PCを用いて飛行シミュレーションを行う。	・生産工程での課題発見、複数ドローンをを用いた実験実施	・ドローンをを用いた生産管理計画をたて、実証実験を行う。台数、積載量を増やす。PCを用いて飛行シミュレーションを行う。	・PCを用いて飛行シミュレーション、生産工程の確認	・生産計画策定	・ドローン輸送実験準備	・ドローン輸送実験
		E-3		・創業支援	・学内ビジコンの開催、県ビジコンへの参加	・県ビジコン、九州ビジコンへの参加、教育プログラムへの参加	・学生及び教員に対する教育プログラムの実施。県、九州ビジコンへの参加	・教育プログラム準備	・教育プログラム実施	・県、九州ビジコン参加	・学内創業に向けた支援
		E-4		小中学生向け体験教室	・プログラミング体験を含むものづくり体験教室を開催する。地元企業に加えて、QSP参画機関にも参加を呼び掛ける。	・7月27日に開催し、終了した。	・プログラミング体験を含むものづくり体験教室を開催する。地元企業に加えて、QSP参画機関にも参加を呼び掛ける。	・体験教室の準備	・体験教室の参加者募集と実施	・体験教室報告書の作成と評価	・次年度に向けた改善点の検討
		E-5		・ICT教育	・E-5とE-6を通貫する取組として、ICT技術を一部含むDXIによる各大学の教育の質転換を支援し、取組状況の社会への発信を実施するほか、加盟各校のデータサイエンス教育への取組状況の調査と「数理I・データサイエンス・AI教育」認定校の増加を目指す。	・DX人材育成事業として、卒業研究において実施した。	・DX人材育成事業としての要望調査とQSPが取り組むべき事業の検討	・ICT教育とDX人材育成事業の内容検討と調査内容の検討	・ICT教育とDX人材育成事業の実施と調査の実施	・ICT教育とDX人材育成事業のまとめと次年度に向けた改善点の検討	
		E-6		・データサイエンス教育		・QSP参画校のMDASH(数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定校)への各校の取り組み状況を調査。	・令和7年度の調査を基に、今後QSPとして取り組むべき活動を検討する。	・令和7年度の調査結果をQSP全体に報告する。	・QSP参画校のMDASH担当者間の交流事業を行う。	・QSPとしての取組み事業の検討	・当年度のとりまとめと、次年度に向けた改善点の検討
		F・子ども育成WG(長短大)	F-1	・共同研究「幼児教育等家庭支援」	・令和6年度第2回WG会議において、令和7年度以降は、「保育・幼児教育現場における子ども家族の多様化、それに伴う新たな人材の育成」というテーマでの共同研究を検討予定である。	今年度は、研究協力者を募集し、西九州大学、佐賀女子短期大学、九州龍谷短期大学、西九州大学短期大学部、長崎国際大、長崎短期大学からそれぞれ1名の研究協力者が選出された。研究テーマと研究の方向性、方法等を協議し、地域の障害児福祉サービス(児童発達支援センター、放課後等デイサービス事業所)の職員を対象としたアンケート調査を実施することとなった。	令和8年度より、本格的な調査の実施を行う予定である。令和7年度までにアンケート調査の内容についての議論を進め、令和8年度の4月～6月には調査の開始を目指す。	・アンケート調査で使用する質問紙の完成と研究手続き等の詳細を決定し、アンケートの送付作業を行う。	・アンケート調査の結果の処理を行う。その後、分析を行う。	・報告書作成に着手する。	・報告書を完成させ、発刊する。
			F-2	・子ども発達支援士養成プログラム	・子ども発達支援士養成プログラム(卒後研修・リカレント教育)の実施。大学コンソーシアム佐賀を構成する(放送大学を除く)5つの連携校にて研修日程を調整して実施。	今年度の卒後研修は終了している。今後は部会にて次年度の研修日程を計画予定。	子ども発達支援士養成プログラム(卒後研修・リカレント教育)の実施。大学コンソーシアム佐賀を構成する(放送大学を除く)5つの連携校にて研修日程を調整して実施。	・子ども発達支援士養成プログラム(卒後研修・リカレント教育) 1) 研究日程の決定 2) R8年度生募集	・子ども発達支援士養成プログラムの実施状況について、必要に応じてWG等との情報共有を行う。 ・卒後研修の実施。	・子ども発達支援士養成プログラム(卒後研修・リカレント教育) 1) 報告と次年度方針を協議	
			F-3	・子ども育成リレー講座	・子ども育成WG参画校で子ども育成に関わる内容の公開講座をリレー形式で開催する。	令和7年度第1回子ども育成WG会議にて、案内チラシ完成及び広報開始。リレー公開講座全6講座実施。第2回会議にて、R8年度の講座について、企画検討。(2月開催)	子ども育成WG参画校で子ども育成に関わる内容の公開講座をリレー形式で開催する。	・令和8年度第1回WG会議 1) 案内チラシ完成 2) 参加者募集開始	・リレー講座実施 ・アンケート調査	・アンケート集計(子ども育成団体・行政も交えた検討会)	・令和8年度第2回WG会議 1) 令和9年度計画

令和8年度事業計画ロードマップ(進捗状況と今後の予定)

中期計画					令和7(2025)年度事業計画	現在までの進捗状況	令和8(2026)年度事業計画	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
課題分野	課題の数値目標	WG名	No.	事業の概要							
中期計画策定・点検評価委員会	①各プロジェクト及びワーキンググループにおける指標達成の管理と評価を行う。 ②中期計画全体の進捗管理と評価(各年度に実施、中間評価を3年目に実施し、最終評価は最終年度に実施する)	中期計画の策定	I-1	中期計画を取りまとめる	・第2期中期計画令和5,6年度の実績、取組状況を確認し、第3期を視野に入れながら適宜修正を図る。	令和7年度より、九州龍谷短期大学の退会のためWGを再編し、11校、3自治体、2経済界、計16参画機関の新体制で改訂中期計画をスタートさせた。	・第2期中期計画令和5-7年度の実績、取組状況を確認し、第3期を視野に入れながら適宜修正を図る。	・事業実施状況記録・確認	同左	同左	同左
		進捗管理	I-2	中期計画に記載した各事業について、ワーキンググループと連携して、進捗状況を把握・管理する。	・第2期中期計画3年度の進捗、目標管理を行う。	・R7.10 私立大学等改革総合支援事業タイプ3(PF型)申請 ・R8.1 第2期2年目令和6年度係数、令和7年度事業実績確認(学校基本調査等) ・R8.3 中期計画策定・点検評価専門委員会にて全体自己評価	・第2期中期計画4年度の進捗、目標管理を行う。	・事業実施状況記録・確認	同左	同左	同左
		中間報告書の作成	I-3	中間外部評価を受けるための中間点検評価報告書を取りまとめる。	・中間報告書作成に備え、令和5、6年度実績を取りまとめる。	令和6年度事業実績、自己評価を取りまとめ、R7.7.23外部評価委員会に報告、R7.9.29講評を受け、QSPウェブサイトへアップした。令和6～7年度、WGの実績を取りまとめた。	・中間報告書作成のため、令和5-7年度の実績を取りまとめる。	・中間報告書(R5-7)作成のため実績とりまとめ	同左	同左	同左
		最終報告書の作成	I-4	最終外部評価を受けるための最終点検評価報告書を取りまとめる。	・最終報告書作成に備え、令和5、6年度実績を取りまとめる。	同上	・最終報告書作成に備え、令和5-7年度実績を取りまとめる。	・中間報告書(R5-7)作成のため実績とりまとめ	同左	同左	同左
		外部評価の実施	I-5	外部評価の企画・準備・対応を行う。	・外部評価を受けるため、各WGの自己評価を取りまとめる。	令和7年7月23日令和7年度外部評価委員会を開催し、令和7年9月29日講評にて令和6年度活動実績の評価をいただいた。	・外部評価を受けるため、各WGの自己評価を取りまとめる。	・外部評価委員会の開催準備	・外部評価委員会開催	・外部評価委員には会議資料等適宜進捗を報告	同左
		中期計画の改定	I-6	事業の進捗により中期計画の修正が必要になった場合に、改定作業を行う。	・第2期中期計画の事業進捗、参画機関の動きに合わせ、適宜協議のうえ改定する。	改正事項なし	・第2期中期計画の事業進捗、参画機関の動きに合わせ、適宜協議のうえ改定する。	同左	同左	同左	同左
		次期中期計画の検討	I-7	本中期計画の終了後の事業の継続・発展のための次期中期計画について検討を行う。	・各年度の事業実績について、課題を確認しながら次期中期計画策定に備えていく。	・九州龍谷短期大学退会に伴う新体制での実績を取りまとめた。	・各年度の事業実績について、課題を確認しながら次期中期計画策定に備えていく。	同左	同左	同左	同左
プラットフォーム事業全体					・第2期中期計画2年間の進捗状況を見ながら、令和7年度事業を実施する。		・第2期中期計画3年間の進捗状況を見ながら、令和8年度事業を実施する。	・会計監査(西九州短期大学部、鎮西学院大学) ・会費100万円/私立校、WGへ再委託	・外部評価委員会開催 ・令和8年度改革総合支援事業申請準備	・令和8年度改革総合支援事業申請	・令和8年度自己評価、令和9年度事業計画、予算策定